

串間市中学校再編意見交換会における質問・意見概要

期 日	平成 26 年 5 月 29 日 (木)	時 間	19 : 03 から 20 : 01 まで
場 所	都井基幹集落センター (都井中学校区)		
出席者	保護者 7 名、教職員 9 名、地域住民 2 名、計 18 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 3 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、施設係長、指導主事、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	串間市立中学校再編推進委員会はいつまで存続するか。例えば、統合後に生じた問題については、学校だけなのか、教育委員会だけなのか。作るのに責任ある組織を作った以上、作ってからも責任ある組織を持つべきだと考えるが。	串間市立中学校再編推進委員会は、学校再編前にいろんな課題を出していただき、その課題解決に向けて準備していく組織である。新しい学校でも想定していないことも出てくることと思うが、学校と教育委員会と協力していきながら対応していきたい。	
2	作るまでの窓口として整備するが、作ってからは教育委員会という表現をされた。教育委員会の中に専門部署とか窓口を設置するのか。また、スクールバスの時間を変えてほしいなどの問題が出てきた場合の対応はどうなるのか。中学校再編後のケアが重要であると思う。	基本的に学校で生じてくる問題は校長に言っていただいて、校長が整理して教育委員会につないで、教育委員会全体で引き受け、検討することになる。教育委員会にも相談してほしい。	
3	夏休みなどの子どもたちの通学はスクールバスが出るのか。	夏休み等の長期休業については、子どもたちが部活動に支障が出ないように、スクールバスを出して対応していく。通常時の下校時は 2 便となるが、それぞれ部活動の時間が違うので、しっかり部活動に対応できるよう対応していきたい。	
4	29 年度に初めて中学生を持つ保護者がいるかと思うが、制服代とかの費用については前もって出してもらえるのか。	学校再編の準備委員会で制服や体操服などを決めていくので、それぞれの小学校に周知していきたい。	
5	スクールバスに乗り遅れた場合に、よかバスに乗れるような体制はできるのか。	乗り遅れた場合に個別に対応することは難しい。子どもが乗り遅れないように保護者の理解協力を求めるのが前提であると思	

		う。子どもたちが事故等で登下校に支障をきたすと学校が判断した場合には、タクシー等を使って登下校できるように協議していきたい。もしもの対応として使用できないかということはコミュニティバスを担当している所管課と協議していきたい。
6	スクールバスの導入にあたって国からの補助が5年間あると説明されたが、6年後からはでないのか。もし国からの補助がでなくなった場合に、スクールバスの維持ができるのか。	スクールバスの補助は購入する補助と委託した場合の補助があるが、いずれかである。別に、運営費の地方交付税措置があり、平成21年度では約5百70万円あり、毎年措置される。串間市としては無償で対応していくことで考えている。